

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	交流協定校カリフォルニア大学バークレー校での共同研究の成果を生かした国際教育の推進				
研究組織	代表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	澤田 敬人
	研究分担者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	松森 奈津子
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	国際関係学部・教授	氏名	澤田 敬人

講演題目	交流協定校カリフォルニア大学バークレー校での共同研究の成果を生かした国際教育の推進
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>本研究の目的は、本学とカリフォルニア大学バークレー校の共同研究の成果をふまえ、新たな国際教育の場を創出することである。本学とバークレー校は交流協定校として毎年交流実績を積み重ねてきた。2023年は5年ぶりに交流協定を更改する年で、年度内に更改の署名が必要であり、その過程で交流内容の見直しを行った。具体的な事項はこれまで最も交流が活発であった部署同士で協議し、今回新たな試みとして、静岡県立大学の学生・院生にさらなる国際教育の場を提供した。</p> <p>本研究の主な成果は、バークレー校日本研究所と本学グローバル・スタディーズ研究センターが連携した下記の実績4点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グローバル・スタディーズ研究センターに所属する松森教授が、2023年7～8月の約5週間、カリフォルニア大学バークレー校にJ-1ビザ保有客員研究員として所属し、スポンサーの羽生淳子教授、本学グローバル・スタディーズ研究センター客員研究員・山中啓子元講師、プログラムディレクター澤田貢美氏、他大学からの客員研究員などと学術交流を進めた。 2. また、松森教授は客員研究員としてバークレー滞在中に、その研究テーマ“The Right of Communication in the Spanish Conquest of the Americas and Asia: From the Viewpoint of the Geopolitical Importance of California”について、バークレー図書館、博物館、サン・フランシスコやサンノゼの史跡などで資料・史跡調査を実施した。成果は、英語論文として現在執筆中である。 3. 帰国後も両校間で交流を続け、2023年11月～2024年1月にかけて、「静岡県立大学×カリフォルニア大学バークレー校協定継続記念公開セミナー」を開催した。第1部として、石井由香教授より開会の挨拶の後、澤田敬人教授より、両校のこれまでの交流の歴史を説明した。そして、松森奈津子教授より、リレー講演の初回として、バークレー滞在の話なども交えながら、17世紀危機の時代のスペイン思想について話した。第2部では羽生教授より、歴史生態学とレジリエンス理論の視点から、食・生業の多様性と農生態系の多重安定性についてお話しいただいた。質疑応答においては、学生から積極的な質問がなされた。第3部では山中研究員より、アジア系アメリカ人の歴史とアメリカン・ドリームについてお話しいただいた。質疑応答においては、教員、学生から積極的な質問がなされた（参考：https://matsumori.memento-mori.casa/openseminar/open-seminar-5/）。 4. 以上の交流後、両校との間の協定更新は完了し、現在、羽生教授と松森教授を中心に、本研究課題の成果をふまえた新たな学際的国際共同研究を準備中である。